

令和5年度 事業計画書

公益財団法人 長崎県すこやか長寿財団

目 次

基本方針		1
1 明るい長寿社会づくり推進事業		
(1) 第20回長崎県ねんりんピックの開催事業		
1) スポーツ交流大会	2	
2) 文化交流大会	3	
3) 生きがい作品展	3	
(2) 第35回全国健康福祉祭えひめ大会への派遣事業	4	
(3) アクティブ・エイジングサポート事業		
1) シニア競技『指定種目(バウンドテニス)』普及事業	5	
2) シニア競技『指定地域(諫早市)』普及事業	5	
3) (新規)ねんりんピック・スポーツ活動促進事業	6	
2 元気高齢者の活躍促進事業		
(1) 人材育成事業		
1) すこやか長寿大学校(シニアいきいきカレッジ)の運営事業	6	
2) すこやか長寿大学校同友会活性化事業	7	
(2) (事業内容一部見直し)ながさき生涯現役応援センター事業		
1) シニア世代の社会貢献活動や社会参加に関する相談受付・支援事業	7	
2) 市町等の地域の関連機関と連携した社会貢献活動・社会参加の促進事業	8	
3 認知症サポートセンター事業		
(1) 認知症地域支援体制強化事業		
○ 認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員の研修会開催事業	8	
(2) 認知症施策普及・支援事業		
1) 相談員による相談受付・支援事業	8	
2) キャラバン・メイト養成研修会の開催事業	9	
3) 交通事業者等企業・職域向け認知症サポーター養成講座の開催事業	9	
(3) 若年性認知症施策総合推進事業		
1) 若年性認知症コーディネーターによる相談受付・支援事業	9	
2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議の開催事業	9	
3) 若年性認知症研修会の開催事業	9	
4) 若年性認知症の集いの開催事業	10	
(4) 認知症サポーター等活動促進事業		
1) チームオレンジ・コーディネーター養成研修会の開催事業	10	
2) オレンジチューターの派遣事業	10	
4 財団事業等の広報や情報発信		
(1) パンフ・ポスターの作成・配布	11	
(2) 情報誌『そよかぜ』の発行	11	
(3) ウェブサイト及びSNS(LINE・ツイッター)による情報発信	11	
(4) ライブラリーでの図書等閲覧と貸出	12	
5 関係機関、団体との連携		12
《参考》 令和5年度 主要事業実施予定表		13

〔基本方針〕

令和2年実施の国勢調査によると、我が国の総人口は1億2,614万6千人で、長期の減少過程にある反面、65歳以上人口は3,602万6千人（高齢化率28.6%）で、増加の過程にあります。一方、本県の総人口は131万2千人で、そのうち65歳以上人口は43万3千人（高齢化率33.0%）となっており、高齢化率は5年前よりも3.4ポイント上昇して、1920年の調査開始以来最も高い上昇率となっています。

〔出典：「令和2年国勢調査 調査の結果」（総務省統計局）〕

また、本県の65歳以上人口の将来予測をみると、団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年には44万2千人（高齢化率：本県35.2%↔全国30.0%）でピークを迎える予測がなされています。その後減少に転じ、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22（2040）年には41万7千人になるものの、人口の減少に伴い、高齢化率は39.6%まで上昇する予測がなされています。

〔出典：「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）〕

さらに本県の近年の人口動態は、総人口の減少や高齢化率の上昇のほかにも、少子化や県外への転出超過が続いています。このような人口構造の変化が進む中、活力ある地域社会の維持・継続を図る方策の一つとして、元気なシニア世代が、地域を支える一員となり、様々な世代とともに地域の行事や活動に参画して、活躍いただくことが期待されています。

実際のシニア世代の行動傾向をみると、平均寿命や健康寿命の伸長に伴い、生きがいや健康づくりを目的として、仕事や社会活動、学習や趣味に意欲的に取り組む方が増えてきています。〔出典：令和3年版高齢社会白書〕第2節（内閣府）〕

これらのことから、令和5年度の本財団の取組においては、『みんなで支える明るい長寿社会』の実現に向けて、シニア世代の生きがいと健康づくりの支援推進をはじめ、社会貢献活動や社会参加の促進、認知症の支援充実に取り組んでまいります。また、それら取組の実施にあたっては、シニア世代が持つ知識や経験、人脈などを様々な活動に発揮していただけるよう進めてまいります。

主な事業計画として、『明るい長寿社会づくり推進事業』では、シニア世代のスポーツや文化等の活動を促進する取組として、『第20回長崎県ねんりんピック大会』の開催や『第35回全国健康福祉祭えひめ大会』への選手団派遣などを行うほか、地域のスポーツ活動の促進を目的としたスポーツ競技の普及・促進の取組を進めてまいります。

また、『元気高齢者の活躍促進事業』では、シニア世代の社会活動や交流を促すための学びや経験の機会を提供する『すこやか長寿大学校』の運営をはじめ、社会貢献活動や社会活動への参加を支援する取組として、相談受付とその支援のほか、活動の参考となるセミナーを県内各地域で開催します。

さらに、『認知症サポートセンター事業』では、認知症の支援充実を図る取組として、若年性認知症を含めた相談受付とその支援をはじめ、地域における支援体制等の充実・強化に向け、人材育成や体制の連携などを図る研修会等を開催します。

以上、令和5年度においては、各計画事業の目的達成とともに、最少の経費で最大の効果を挙げるよう取り組んでまいります。

令和5年3月

1 明るい長寿社会づくり推進事業

(1) 第20回長崎県ねんりんピックの開催事業(スポーツ・文化の交流大会、生きがい作品展)

県内シニア世代のスポーツ・文化の競技活動や美術創作活動の促進を図るため、競技大会並びに美術作品展を開催し、シニア世代の健康の保持・増進をはじめ、生きがいづくりや社会参加、地域間交流を促して、活力ある明るい長寿社会の実現を目指す。

※『第35回全国健康福祉祭えひめ大会』（令和5年10月開催）の派遣選手選考会を兼ねた大会

1) スポーツ交流大会(19種目)

◆ 競技19種目：《令和5年の開催月日（曜日）》

- ◎ 《4月5日（水）》：ゴルフ
- ◎ 《4月22日（土）》：ボウリング
- ◎ 《5月13日（土）》：卓球、テニス、ソフトテニス、ゲートボール、
パタンク、マラソン、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、
ソフトバレーボール、サッカー、水泳、ターゲット・バードゴルフ、
バウンドテニス、パークゴルフ
- ◎ 《5月13日（土）～14日（日）》：ソフトボール

◆ 開催場所

- ・大村市 大村市テニスコート、大村市陸上競技場、大村市弓道場、
大村市総合運動公園、シーハットおおむら、
大村市古賀島スポーツ広場、大村市屋内プール
- ・諫早市 諫早パークレーン、諫早市小野体育館、
諫早市多良見なごみの里運動公園、長崎県立総合運動公園、
諫早市中央体育館、諫早市梅野公園
- ・長崎市 長崎カンツリー倶楽部、長崎市総合運動公園（かきどまり）
- ・長与町 長与シーサイドパーク多目的広場、長与町民体育館

◆ 参加選手・役員

約 3, 200 名（見込み）

令和4年度の主な競技種目の開催風景（令和4年5月開催）



(弓道)



(太極拳)



(ゲートボール)



(水泳)

2) 文化交流大会(3種目)

令和4年度の開催風景

(令和4年5月開催)

(ア) 囲碁交流大会

- ◇ 開催期日 令和5年5月13日(土)
- ◇ 開催場所 長崎県勤労福祉会館(長崎市)
- ◇ 参加選手役員 約 150名(見込み)



(イ) ふれあい三世代交流将棋大会

- ◇ 開催期日 令和5年5月14日(日)
- ◇ 開催場所 長崎県勤労福祉会館(長崎市)
- ◇ 参加選手役員 約 100名(見込み)



(ウ) 健康マージャン交流大会

- ◇ 開催期日 令和5年5月14日(日)
- ◇ 開催場所 マージャンハウスいでがみ(長崎市)
- ◇ 参加選手役員 約 100名(見込み)



3) 生きがい作品展

- ◇ 開催期間 令和5年6月1日(木)～4日(日)4日間
- ◇ 開催場所 長崎県美術館県民ギャラリー(長崎市)
- ◇ 募集部門 絵画、写真、書、工芸・彫刻の4部門
- ◇ 出品点数 約200点(見込み)
- ◇ 来場者数(延べ人数) 約600名(見込み)

令和4年度の開催風景

(令和4年6月開催)



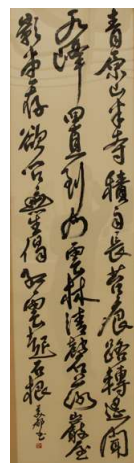
(知事賞:絵画)



(知事賞:写真)



(知事賞:工芸・彫刻)



(知事賞:書)

作品展会場



(2) 第35回全国健康福祉祭えひめ大会への派遣事業

ねんりんピックの全国大会となる全国健康福祉祭では、全国からシニア世代が集い、スポーツ・文化の競技種目の試合や、芸術作品の出品・展示などを通して、交流を深め、健康の保持・増進と生きがいづくり等を推進する大会。この大会に、県ねんりんピック大会の競技種目の優秀選手（優秀チーム）・監督並びに優秀芸術作品を派遣、出品する。令和5年度の開催地は愛媛県

◇ 開催期間	・ 令和5年10月28日（土） ～ 10月31日（火）4日間
◇ 開催地	・ 愛媛県内 11市9町
◇ 派遣選手・監督 出品芸術作品	・ 172名（見込み） ・ 絵画、写真、書、工芸・彫刻（各1点）



（第34回かながわ大会:開会式）
令和4年11月12日～15日開催

参加種目・開催イベント（計画）

- (ア) スポーツ交流大会（10）
 - ・卓球 ・テニス ・ソフトテニス ・ソフトボール ・ゲートボール
 - ・ペタンク ・ゴルフ ・マラソン ・弓道 ・剣道
- (イ) ふれあいスポーツ交流大会（10）
 - ・ウォークラリー ・グラウンド・ゴルフ ・ラグビーフットボール ・水泳
 - ・サッカー ・ソフトバレーボール ・太極拳 ・バウンドテニス
 - ・ダンススポーツ ・インディアカ
- (ウ) 文化交流大会（3）
 - ・囲碁 ・将棋 ・健康マージャン
- (エ) 健康、福祉及び生きがい関連・共通イベント
 - ・健康づくり教室、健康フェア、美術展、地域文化伝承館、シンポジウム、音楽文化祭、相談コーナー、ふれあい広場等の各種イベントを開催予定

第34回かながわ大会の開催風景（令和4年11月開催：主な参加種目とイベント等）

《スポーツ競技種目》



（グラウンド・ゴルフ）



（ソフトテニス）



（剣道）



（ソフトバレーボール）

《開催イベント・閉会式》

《文化競技種目》



（地域伝承館）



（閉会式）



（囲碁）



（将棋）

(3) アクティブ・エイジングサポート事業

シニア世代の健康の保持・増進、社会参加や生きがいつくりの促進を図ることを目的として、全国及び長崎県のねんりんピック関連のスポーツ競技種目の普及・振興を図り、地域内の実践リーダーを育成する。

1) シニア競技『指定種目(バウンドテニス)』普及事業

全国及び長崎県のねんりんピック関連のスポーツ競技種目の中から「バウンドテニス競技」を指定し、同競技の講習会を以下のとおり開催して、その普及・振興を図る。

◎ 指定種目：バウンドテニス 《月1回講習会を開催》

開催地域	①長崎市（三和地区）	②諫早市
(ア) 主管団体	長崎県バウンドテニス協会	長崎県バウンドテニス協会
(イ) 指定期間	令和3年度～令和5年度	令和5年度～令和6年度

令和4年度の開催風景

(令和4年4月～令和5年3月開催 西海市、長崎市（三和町）)



2) シニア競技『指定地域(諫早市)』普及事業

全国及び長崎県のねんりんピック関連のスポーツ競技種目の中から「パークゴルフ競技」の施設がある諫早市森山町（梅野広場）を地域指定し、同競技の県大会を開催して、県内での普及・振興を図る。

◎ 指定地域：諫早市 《県大会を開催：1回/年》

指定地域	諫早市
(ア) 主管団体	諫早市パークゴルフ協会
(イ) 指定期間	令和3年度～令和5年度

令和4年度の開催風景

[令和4年10月開催：諫早市森山町梅野広場]



(開会式)



(競技)



(表彰式)

3) (新規)ねんりんピック・スポーツ活動促進事業

ねんりんピックのスポーツ競技種目である「スポーツウエルネス吹矢」競技を対象に、競技未経験者の関心や興味を高め、競技参加の契機とするとともに、未経験者の競技参加ニーズ等を把握して、今後の活動者拡大に向けた取組への活用を図ることを目的として、同競技の実演と実際に体験ができる教室を開催する。

◎ 対象種目：スポーツウエルネス吹矢 《体験教室開催：2地域で各3回/年》

開催地域	①長崎市	②諫早市
(ア) 主管団体	長崎県スポーツウエルネス吹矢協会	
(イ) 指定期間	令和5年度～令和6年度	

2 元気高齢者の活躍促進事業

(1)人材育成事業

1)すこやか長寿大学校(シニアいきいきカレッジ)の運営事業

シニア世代の活発な社会参加活動を促し、人や地域のネットワークづくりを進め、地域の活力向上を図ることを目的として、シニア世代を対象に、学びと体験の場として以下の大学校を開校する。

- ・大学校名称：第10期シニアいきいきカレッジ
- ・開講期間：令和5年5月～令和6年2月(予定)
- ・開校数(場所)：2校、長崎校(長崎市)と佐世保校(佐世保市)

- | | |
|---------|---|
| ◇ 入学資格 | 県内在住で55歳以上の方 |
| ◇ 入学定員 | 長崎校(25名)、佐世保校(30名) |
| ◇ 講座内容 | <ul style="list-style-type: none">● 設定テーマに精通した講師によるゼミ形式の講座やグループワークなど実習を取り入れた講座を実施(主な講座テーマ：「コミュニケーションと仲間づくり(シニア世代の学びと行動等)」、「健康といきがいづくり(ボランティア入門等)」、「地域活動実践者の講話や校外学習」など)● 期間の後半では、受講生自らが企画・運営を行い、受講生同士が協力しながら取り組むスポーツ大会や文化祭のイベントを開催し、社会参加活動の参考となる実践的な体験とスキル等を学ぶ。 |
| (1) 講座 | 1講座2時間(13:30~15:30)、年間30講座 |
| (2) 開講日 | 長崎校(火曜日)、佐世保校(木曜日) |
| (3) 募集 | 公募 |
| (4) 受講料 | 10,000円(年間) |

令和4年の実施風景

(令和4年5月(開講)～令和5年2月(閉講))



(講座:コミュニケーション)



(講座:受講生活動発表)



(講座:校外学習)



(講座:スポーツ大会)



(講座:文化祭 合唱①)



(講座:文化祭 作品②)



(閉講式:長崎校)



2)すこやか長寿大学校同友会活性化事業

大学校卒業生の社会活動組織である等への参画支援を目的に、すこやか長寿大学校卒業生の活動組織である、長崎校同友会及び佐世保校同友会に対して、実施している活動・研修事業の費用の一部に助成を行う。

(2)(一部見直し)ながさき生涯現役応援センター事業

財団内にシニア世代の社会貢献活動と社会参加に関する総合的な支援や普及啓発の取組を行う「ながさき生涯現役応援センター」を設置・運営し、以下の事業を実施

1)シニア世代の社会貢献活動や社会参加に関する相談受付・支援事業

地域におけるシニア世代の社会貢献活動や社会参加の促進を目的に、それら活動に関心や興味のある方、実際に活動を希望される方からの各種相談を受け、その支援を行うほか、各地域において社会参加等の活動に係る啓発や情報提供などのセミナー開催を行う。

◇ 相談窓口(電話等)の運営

- ・ 支援対象者 65歳以上のシニア世代
- ・ 相談窓口 ながさき生涯現役応援センター(長崎県すこやか長寿財団内)
《センターでの相談受付:月～金曜日、電話等》

2)市町等の地域の関連機関と連携した社会貢献活動・社会参加の促進事業

◇ 市町等地域の関係機関と連携し、社会参加等の啓発と促進をテーマとした講演や活動等の紹介、情報提供のセミナーを開催

● 年間開催回数：20回 2時間程度/回 受講者40名程度/回（計画）

3 認知症サポートセンター事業

認知症に関する総合的な支援を目的として、財団内に「認知症サポートセンター」を設置・運営し、以下の支援充実を図る各事業を実施する。

(1)認知症地域支援体制強化事業

市町の認知症支援体制の充実・強化を目的として、地域において認知症の方やそのご家族の支援を行う「認知症初期集中支援チーム員」や「認知症地域支援推進員」（各市町に配置）を対象に、支援に関する先進的、実践的な取組事例や知見などの技能・知識を学ぶ研修を開催

○認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員の研修会開催事業(オンライン)

◇ 開催回数：年1回（講義演習1日） ◇開催場所：長崎市 ◇定員：100名程度

《チーム員とは》認知症初期（疑われる方を含む）に訪問支援を行う医師・保健師・介護福祉士等
《推進員とは》認知症の相談・支援や関係機関との連携支援等を行う保健師・看護師・社会福祉士等

(2)認知症施策普及・支援事業

高齢者の認知症に関する相談受付とその支援をはじめ、認知症の方等の支援者養成を促す取組や、交通事業者が、認知症の方の接遇等について、正しい知識と理解を深める講座を開催

1)相談員による認知症の相談受付・支援事業（認知症高齢者の方・ご家族等からの相談）

◇ 相談窓口 ●認知症サポートセンター（長崎県すこやか長寿財団内）
◇ 受付 ●月～金曜日 ●電話等

2) キャラバン・メイト(認知症サポーターの養成講座の講師役)養成研修会の開催事業

- ◇ 開催回数：年1回(講義演習1日) ◇開催場所：長崎市 ◇定員：50名程度
- ◇ 研修内容：キャラバン・メイトの役割や活動のあり方、サポーター養成講座の運営等

※認知症サポーター：認知症を理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守りながら応援する

3) 交通事業者等企業・職域向け認知症サポーター養成講座の開催事業

- ◇ 開催事業所数(延べ)：7回程度(講義演習90分) ◇1事業所定員：15名前後
- ◇ 開催場所：長崎市ほか(オンライン併用)
- ◇ 講座内容：交通事業者(民間・公営)の従業員を対象に、認知症についての基本的な理解と、乗客への接遇等に関する実践的な知識や技術の習得を目的とした講座を開催

(3) 若年性認知症施策総合推進事業

若年性認知症に関する相談受付とその支援をはじめ、若年性認知症の支援充実を図るための検討会議や研修会の開催、若年性認知症の方やそのご家族等が定期的集まり、思いや意見・情報交換を行う場を開催などの取組を行う。

1) 若年性認知症コーディネーター(認知症相談員の兼務)による若年性認知症の方やそのご家族、地域の支援機関等関係者からの相談受付・支援事業

- ◇ 相談窓口 ●財団内(認知症サポートセンター) ●受付：月～金曜日 ●電話等

2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議(構成員：県内の若年性認知症の支援関係機関・団体17)の開催事業

- ◇ 開催回数：年1回 ◇開催場所：長崎市(オンライン併用)
- ◇ 会議内容：事例検討や意見・情報交換、県・センターの取組事業の紹介など

3) 若年性認知症研修会の開催事業

- ◇ 開催回数：年1回(講演・講義) ◇開催場所：長崎市(オンライン併用)
- ◇ 定員：200名程度
- ◇ 対象者：行政・地域包括支援センター職員、介護保険及び障害福祉サービス事業者等
- ◇ 研修内容：若年性認知症の理解や支援に関する講演・事例紹介のほか、若年性認知症の方やご家族からの情報(伝えたいこと)を紹介

4) 若年性認知症の集いの開催事業

- ◇ 開催回数：1回／隔月（2時間） ◇開催場所：長崎市（財団内）
- ◇ 参集者：若年性認知症の方やそのご家族、支援機関関係者等
- ◇ 集いの内容：参集者が気軽に自由に、自身の思いや悩みなどについて発言し、意見・情報交換等が行われる場の運営を行う。

(4) 認知症サポーター等活動促進事業

市町におけるチームオレンジの整備に向け、チームオレンジ・コーディネーター（候補者）を対象に、関連する知識や技術を学ぶ研修会を開催。

また、チームオレンジの構成員となる認知症サポーターやチームオレンジ・コーディネーターの候補者に助言等を行うオレンジチューターを、市町からの要請に応じて派遣する。

◎**チームオレンジ**：認知症サポーターが中心となり、地域で生活する認知症の方やそのご家族の支援活動を行うチーム

◎**チームオレンジ・コーディネーター**：市町が設置。認知症の方やその家族等と認知症サポーター等の支援者やチームオレンジとの間をつなぐ役割を担う調整者

◎**オレンジチューター**：市町が設置するコーディネーター等に対する研修や助言等を行う専門的な知識や技術を持つ指導者（長崎県は3名設置済み）

1) チームオレンジ・コーディネーター養成研修会の開催事業

- ◇ 開催回数：年1回（4時間程度） ◇開催場所：長崎市（オンライン併用） ◇定数：50名程度
- ◇ 対象者：チームオレンジ・コーディネーター（候補者及び関係者）
- ◇ 研修内容：チームオレンジの基本知識、立ち上げや活動の事例紹介など

2) オレンジチューターの派遣事業

- ◇ 派遣：市町からの要請に応じて派遣 ◇派遣回数 12回（計画）
- ◇ 対象者：チームオレンジの構成員（候補者）、チームオレンジ・コーディネーター（候補者）等
- ◇ チューターの支援内容：チームオレンジの設立に向けた助言等や意見交換会など

4 財団事業等の広報や情報発信

各種メディア媒体を活用して、財団が取り組む事業の広報をはじめ、シニア世代の健康・生きがいづくりの取組の紹介や、地域社会での活動促進に向けた関連情報の発信を行い、みんなで支える明るい長寿社会づくりを推進する。

(1)ポスター・パンフレットの作成・配布

財団事業の取組内容や大会等の開催・募集を広報・周知するための作成・配布

財団事業の開催・募集

◎長崎県ねんりんピックの開催

◎長寿大学校の生徒募集

◎生きがい作品展の作品募集

ほか



(ねんりんピック開催ポスター)

(長寿大学校募集パンフ)

(2)情報誌『そよかぜ』の発行

財団の取組事業を中心に、シニア世代の健康や生きがいづくりの取組をはじめ、安全・安心な暮らしの参考となる各種情報を発信。シリーズコーナー記事として、「高齢者の健康」や「長崎の歴史」などもある。

財団情報誌『そよかぜ』

- ・発行回数 3回/年
- ・発行部数 6,000部
- ・誌面頁数 24頁(本文)



(情報誌『そよかぜ』最新刊第123号表紙)

配布先

県・関係機関、市町、県市町社会福祉関係協議会、県市町老人クラブ関係機関、医師会、歯科医師会、薬剤師会、老人福祉・老人保健施設、介護関係病院、公民館、図書館、看護協会、栄養士会、スポーツ競技団体、財団会員、個人読者等

(3)ウェブサイト及びSNS(LINE・ツイッター)による情報発信

財団の取組事業を中心に、シニア世代の健康・生きがいづくりや就業・社会参加、認知症対策などに関する情報を広く情報発信を行い、諸活動や行動の参考としていただくためのウェブサイト及びSNS(LINE・ツイッター)による情報発信を行う。

(4) ライブラリーでの図書等閲覧と貸出

高齢者福祉等に関する図書、DVD、ビデオテープ、行政・関連団体等の情報誌
機関誌を自由に利用（閲覧・貸出し）できるライブラリーを財団内に設置・運営

シニア世代に関連する情報ライブラリーの運営

◎図書在庫数	851冊
◎ビデオ・DVD	849本

（令和5年1月末現在）



（財団のライブラリー室内）

5. 関係機関・団体との連携（令和5年度年間主要行事予定表の事業参照）

財団の取組事業において、関係機関・団体との連携、協力を密接に行いながら、
より良い成果が得られるよう取組を進めていく。